

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業実績報告書

令和2年 11月 30日

和泉市長 あて

団体名 まちセミ・IZUMI 実行委員会

代表者名 新田 良子

所在地

電話

令和2年 4月 9日付け和泉公民第80号で交付決定のあった支援金に係る事業の実績報告について、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第16条の規定により、提出します。

記

1. 事業費総額 14,438 円
(うち、対象経費 14,438 円)

2. 交付決定額 97,396 円

3. 添付書類

- (1) 事業報告書(様式第12号)
- (2) 収支決算書(様式第13号)
- (3) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業報告書

事業の名称	まちセミ・IZUMI 2020
事業内容	<p>(主な対象者) 和泉市民</p> <p>(事業の実施期間) 令和2年11月23日(月・祝)</p> <p>(事業の実施場所) ZOOM(リモート)</p> <p>(事業内容) 福島より特別講座 東日本から10年 第1部 福島県原発被災地の現状 第2部 カリタス南相馬の活動報告</p>
事業の成果	<p>(参加者・スタッフの人数の状況) 参加者数 38人、スタッフ数 2人、先生 1人</p> <p>(参加者の声) 事業を受ける前、受けた後 受講前 ・福島県の話が聞けるのは、楽しみ。 ・このような機会でないといけないので、楽しみ。</p> <p>受講後 ・福島県の現状がよくわかって、良かった。 ・住民の方々の生の声が聞けて、心に残った。 ・講師が女性で、女性の視点からのお話で、よくわかった。</p> <p>(事業を実施したことによる目標達成状況及び効果) コロナ禍で、和泉シティプラザで予定した15講座は中止したので、当初の目標を十分に達成することができなかった。しかし、コロナ禍であっても、ZOOMを活用し、普段聞けないお話を聞くことができたため、和泉市民への啓発となったと考えている。</p> <p>(今回の申請事業の反省点) 新型コロナの対策を熟慮して実施計画を検討したが、感染者急増で事業を中止することが適正だと判断した。コロナの状況を読めず、開催ギリギリで、会場での実施を中止することになってしまった。</p>
課題(今後の方向)	<p>来年は、当初の計画通り、学校を借りて、多くの授業を開講し、「ひとりの学び」が「まちの学び」につながるきっかけをつくり、和泉市をステキな「まち」にしたい。</p>

(添付書類) 事業内容のわかる写真4~5枚(写真は返却いたしません。)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支決算書

事業の名称：まちセミ・IZUMI 2020

1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠等
支援金	7,219円	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	6,000円	寄付金 6,000円（エコール・いずみ、大阪いずみ市民生活協同組合）
自主財源	1,219円	
合計	14,438円	

2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠等（数量、単価等）
印刷製本費	8,560円	ちょいず届出啓発チラシ 260円 ちょいず祭り配布用資料 830円 パンフレット 6,780円 先生への依頼文書 690円
消耗品費	303円	封筒代 303円
役務費	3,225円	郵便切手代 3,225円
使用料	2,350円	シティプラザ使用料 2,350円
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合計	14,438円	
対象経費	14,438円	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

(添付書類)

- ・ 事業の経費に係る領収書（原本）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。